



令和5年度 京都市立桂徳小学校 学校経営方針



令和5年度 学校教育の重点

京都市の目指す子ども像

「伝統と文化を受け継ぎ、次代と自らの未来を創造する子ども」

令和5年度 重視する視点

■子どもの「主体性」と「社会性」の育成を目指し、「自ら学ぶ力」と「自ら律する力」を学校全体の教育活動の中で高める。【小・中・小中学校(義務教育学校)】

1. 主体的・対話的で深い学びを重視した授業を通して、学びの質を高める。
2. 日々の授業と家庭学習との連動を通して、自学自習の習慣化を図る。
3. 自他を大切にし、「公共の精神」に基づく態度を育む

全教職員で進める学校園づくり5つの柱

「いのち」～子どもの命を 지키 切る～

「よりそい」

～多様な子どもを誰一人取り残さない教育を進める～

「つとめ」～教職員の職責を自覚し、研鑽することで、

教育の質を高める～

「ひろがり」～カリキュラムマネジメントの視点をもって

社会に開かれた教育課程を実現する～

「つながり」

～校種間連携・接続により子どもを支える～

学校教育目標

やりたいことを見つけ、夢中になって取り組む子
～毎日わくわく、みんなが行きたい桂徳小～

育成を目指す資質・能力

- ・自分の考えや思いをもって、目標や課題解決に向かう「**探求力**」「**自己解決力**」
- ・お互いを認め尊重し合い、共に高めるとする「**自律力**」

校内研究

豊かに話し合うことで
学びを深める子の育成

生徒指導

一人一人を大切にする
集団づくりの推進

人権教育

自分の大切さとともに
他の人の大切さを認める子

目指す子ども像	目指す教職員像	目指す学校像
㊦ んこうで明るい子 ㊧ けんをもち、学び合う子 ㊨ もだちを大切にする子 ㊩ りかえし何度でも挑戦する子	・一人一人の子どもを理解し、愛情をもって関わっていく教職員 ・自己研鑽に励み、お互いのワークライフバランスを尊重し助け合いながら、切磋琢磨し合う教職員 ・職責を意識し、主体的により高みを目指す教職員	・だれもが毎日楽しく、前向きに活躍できる学校 ・地域に信頼され、地域と共にあゆむ学校